



キク編

病害虫注意報 2023年6月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病・害虫注意! 5月に引き続き、白さび病の発生しやすい季節です。循環扇、モヤコン等を活用して空気の対流と湿度を下げる環境づくりを徹底していきましょう！
また気温の上昇に伴いアザミウマ類、ハダニ類の害虫の発生も増加します。注意していきましょう！

<白さび病対策>



症状

- ▶葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある。

多発条件

- ▶15～20℃の気温。
- ▶多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶梅雨時期と9～10月頃の冷涼な時期。
- ▶肥料不足、窒素不足。

対策

- ▶循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶予防的な薬剤散布
- ▶排水不良圃場では団粒化資材を用いるなど排水を良好にする。
- ▶発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション ⚠

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。

品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。

さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	F02	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	13	ミカンキイロアザミウマ ミナキイロアザミウマ ハダニ類・オオタバコガ等	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	21A 39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類・ハダニ類	ハチハチ乳剤	1,000倍	発病初期	4回
	30	アザミウマ類・ハダニ類 オオタバコガ・ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	5	アザミウマ類・ハダニ類 オオタバコガ・イロガキノウハ	ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物(りんどうを除く)登録

ネハルサン



4袋(60kg)/10a
元肥施用時同時処理

定植時に

定植

ネハルサン
効果は2か月

2か月後

白酢
月/1～2回

生育期に

白酢



灌注時:100～300倍
散布時:300～1,000倍

リン酸過剰圃場におすすめ体系

土に吸着されたリン酸を有機酸の効果で引き離し根に吸収されやすい状態にします。

※強酸性のため100倍より濃く希釈しないよう注意